

誇り高き敗戦



(上)西VS三上。来季の浦和レッズ入りが内定している三上は大学生とは思えない落ち着いた動きでプロと互角に渡り合った(中上)福西にプレスをかける森田。前線の選手の惜しみない守備もジュビロを苦しめた(中下)U-20日本代表のチームメイト・那須と前田のバトル(右上)2ゴールと存在感を見せたエース深井(右下)奥のドリブルは脅威だった

第81回天皇杯 3回戦

駒澤大学2-3ジュビロ磐田



12月12日 19:00 ジュビロ磐田スタジアム

(左)ジュビロは服部、中山ら主力を温存(中)試合後、談笑していた那須と前田(右)桜井は白帯を持つPK戦まで持ち込みたかっただろう

駒大2(0-2)3磐田

- 【磐】 52分・前田遼一
- 【磐】 59分・西紀寛(アシスト=藤田俊哉)
- 【駒】 64分・深井正樹(巻誠一郎)
- 【駒】 89分・深井正樹(橋本早十)
- 【磐】 112分・藤田俊哉(PK)

KOMAZAWA	IWATA
GK① 桜井繁(4)	GK① ヴァンズワム(32)
DF② 木村誠(4)	DF② 河村崇大(22)
DF③ 小林久晃(4)	DF③ 田中誠(26)
DF④ 那須大亮(2)	DF④ 山西尊裕(25)
DF⑤ 三上卓哉(4)	MF⑤ 西紀寛(21)
MF⑥ 津村典明(4)	MF⑥ 福西崇史(25)
MF⑦ 中田洋介(2)	MF⑦ ジゴウグッチ(24)
(83分)⑧ 中後雅喜(11)	MF⑧ 金沢浄(25)
MF⑨ 高橋健次(4)	(74分)⑨ 平野孝(27)
(72分)⑩ 橋本早十(22)	MF⑩ 藤田俊哉(30)
MF⑪ 森田真実(4)	FW⑪ 奥大介(25)
(70分)⑫ 金位漫(4)	FW⑫ 前田遼一(20)
FW⑬ 巻誠一郎(3)	(90分)⑬ 清水範久(25)
FW⑭ 深井正樹(3)	S U B
S U B	GK⑭ 大神友明(31)
GK⑮ 新沼泉(3)	DF⑮ 上本大海(19)
DF⑯ 鈴木祐輔(1)	MF⑯ 川口信男(26)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	鈴木政一

警告(C)/退場(S)
 【駒】 108分:中後雅喜(退)
 <シュート>12:13<枠内シュート>4:5
 <決定機>5:6<GK>14:17<CK>3:4
 <PK>0:1<直接FK>10:15<間接FK>13:3
 <OS>13:2<主審>上川徹<観衆>3533人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。選手名横0内は駒澤が学年、ジュビロ磐田が年齢



ジュビロ相手に 一歩も引かず

「負けたから納得は出来ないけど次につながるいいゲームが出来た。ジュビロを延長まで追いつめる。ゴールを決めた深井は試合後、どこか誇らしげにそう語った。

この日のジュビロはチャンピオンシップの影響がちらちらと見えていたが、それでも今年度JリーグMVPの藤田、日本代表の奥などが名を連ね、明らかに格上であることには変わりはない。そんなジュビロに対し駒大は「自分たちはチャレンジャー。失うものは何もない。全力で勝ちに行きたい。那須」との言葉に象徴されるように、一歩も引かない姿勢で勝負に挑んだ。

序盤こそ慣れないプロのスピードに苦しんだが徐々に落ち着きを取り戻し、何れかチャンスも作った。津村を中心に守備の集中も高くなり、素早いプレスでジュビロにスペースを与えなかった。

先制されても「予想していたから(三上)と焦らず、追加点を奪われても勝負をあきらめず深井が1点を返す。必死に食らい付いた。後半も「獲手」をまき散らした。

「先制されても「予想していたから(三上)と焦らず、追加点を奪われても勝負をあきらめず深井が1点を返す。必死に食らい付いた。後半も「獲手」をまき散らした。」

勇猛果敢に戦った美しき戦士達

シュート数はジュビロの13に対し駒大12。プロ相手といえど大学王者の誇りを胸に、そして駒大サッカー部としての誇りを胸に勇猛果敢に戦い敗れし戦士達の最後は限りなく美しかった。

示すため(秋田監督)小林久を前線に上げ、点を取りに行っていた。そしてその姿勢がロスタイムの劇的な深井の同点ゴールにつながる。そのポイントにはまるで駒大の勝利を願う全ての人の祈りが乗り移っていたかのようだった。

延長でも「プロに勝ちたい」という高い意識を保ち攻め続けたが、勝負は思いがけないラフ・スト迎える。延長後半7分、ジュビロ・西の突破を木村が倒しPK。これを藤田に決められ試合終了。「学生にしてはよくやった」。試合後、指揮官は選手たちをそんな言葉で称えた。

熊崎雅之
 内野晋作
 佐野陽一
 岩田浩志
 内田尊志
 丹羽悠介
 森田智子
 西村諒
 山口